

事業所名

子ども発達支援センター愛 親子通園部ゆう

支援プログラム

作成日

2024 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりがそのらしく生き生きと地域社会の中で生活できるように子どもの育ちを支えます。 子どもが持っている力を最大限引き出し、子どもたちの生活の質の向上をめざします。 保護者と子どもの育ちを共有し、保護者と一緒に子どもの成長を支えます。 障がいをもった子どもたちが地域で豊かに生活していけるように、関係機関と連携して地域福祉の充実を図ります。 すべてのスタッフが、それぞれ持っている専門的な知識や技術を向上させて、子どもたちによりよい支援を総合的に提供できるように努めます。 								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 障がいや発達上の問題を持つ子どもや家族への総合的な発達支援サービスを提供します。 圏域の障がい児支援の拠点施設として、訪問や職員派遣などの施設外支援を積極的に展開します。また、ワンストップ対応ができるようにさまざまな事業を実施します。 愛児園湯田保育所と連携を取りながら、インクルージョン理念に基づく支援を行います。 障がいを持つ子どものライフステージを見据えた取り組みを行うことにより、乳幼児期から学童期にいたる継続した援助を行います。 								
サービス提供時間		9 時	00 分	から	17 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
年間目標		<p>子ども：ゆうが安心でき、楽しめる場所になろう。生活リズムを整え、生活習慣を身につけよう。 人と楽しく関われるようになろう。集団に慣れよう。</p> <p>保護者：仲間や職員に安心して、子育ての悩みが話せたり、相談できるようになろう。 子どもを理解し、関わりの工夫や配慮をすることで、子育てがしやすくなろう。職員と家庭での様子を共有しよう。</p>								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 10月11月 自分で着脱ができることを増やそう。保護者と一緒に歯磨きを歯磨きをしよう。絵カードや具体物などで次の活動を知り、楽しみを持って参加しよう。 12月1月 絵カードや具体物などで次の活動を知り、楽しみを持って参加しよう。身の回りのことを自分で取り組んでみよう。 2月3月 1日の流れを理解して、活動に参加しよう。保護者以外の介助でも、身の回りのことに取り組もう。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 10月11月 戸外で身体を動かす心地よさを感じたり、散歩に出かけたりすることを楽しもう。秋の遊びを楽しもう（落ち葉、どんぐり、枝など）。 12月1月 しっかり身体を動かして、寒さに負けない体力作りをしよう。手先を使った遊びに挑戦しよう。 2月3月 好きな遊具やおもちゃを使って、保護者や職員、友達と一緒に身体を動かして楽しもう。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 10月11月 自分の物が分かり、タオルや歯ブラシセット、カバンなどの持ち物の準備を保護者と一緒に行おう。職員や友達の名前を知ろう。 12月1月 手遊びやダンスなどを通して、職員の真似をしてみよう。おしまいの合図で使ったおもちゃを1つだけでも片付けよう。ウエルカムデイに向けて、みんなの前で表現してみよう。 2月3月 保護者と離れて、自由時間を過ごしてみよう。保護者との分離時や再開時の合図を知ろう。保護者との1日分離を経験し、保護者が迎えに来ることを理解し、安心して過ごせるようになろう。 								
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 10月11月 自分の名前を呼ばれたら、返事や表情、発声などで応えてみよう。保護者と一緒にごぼやジェスチャーなどを使って、「ちょうだい」「かして」「もういっかい」などのやりとりを知ろう。 12月1月 保護者と一緒にごぼやジェスチャーなどで自分の思いを伝えようとして、思いが伝わった喜びを感じよう。絵本に出てくる絵や物の名前をことばやジェスチャーで表現してみよう。 2月3月 自分の思いを伝える手段を増やそう。みんなで作ってみたい、一緒にやって楽しい、共感してもらって嬉しいなどの気持ちを体験しよう。 								
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 10月11月 保護者と一緒に順番を待つことで、順番があることを知ろう。職員や保護者が仲介をしながら、簡単なやりとりや物の貸し借りを体験しよう。 12月1月 保護者と一緒待つ経験をしよう。友達を意識して、同じ遊びを楽しもう。 2月3月 同じ遊びをしながら、大人が介入して友達と関わりをもってみよう。一日分離に向けて、保護者と離れても安心して過ごせるような関係を職員と深めよう。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 職員が、保護者の気持ちに寄り添い、共に子どもの療育を支えていく姿勢 クラス療育の親子参加 親子参加の行事（夏まつりや運動会など）の開催 ロバのみみ会（保護者向けの講演やリフレッシュの会）を月に一度開催 わかばの会（父母の会）の運営援助 ペアレントメンターのお話・相談会の開催 子ども達の療育の入り口としての支援（ぼっかばか） 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 併行通園先、就学先との連携 相互訪問 関係機関連携会議 子ども発達相談センターぼこ・あ・ぼこ（子ども発達支援センター内に併設）との連携 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援事業 巡回支援専門員整備事業（留守家庭児童学級訪問支援） 山口県・山口市より委託を受けた事業により、市内の児童発達支援事業所や保育園・幼稚園・認定こども園の職員に向けての研修会の開催 山口市内の児童発達支援事業所に通う親子が安心して遊べる場所の提供（でこぼこフェスタ） 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> （毎月） スキルアップ研修（講師を招いての講義やコンサルテーションなど） ケース会議（クラスケースについての検討研修） ZOOM研修を含む県内外の研修に参加（年1回） 権利擁護の研修 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 遠足・夏まつり・宿泊療育・運動会・発表会など たなばた会・クリスマス会・もちつき・節分まめまき・ひな祭り会など季節の行事 誕生会（毎月） 								

※親子通園部ゆうは、4月～9月は休止し、子ども発達支援センター愛のゆうクラスとして運営していたため、その間の支援プログラムは、子ども発達支援センター愛に含まれる。